

金製指輪

純金製のこの指輪は驚くほど現代的な雰囲気があり、作られてから 1,500 年経った今も輝き続けています。この指輪は、同様のものが新羅の古都・慶州の王陵からも発見されており、朝鮮半島に由来しています。金の薄く細長い金属片が溶接された指輪上の花と円形の模様は、当時としては高水準の技術を実証しています。日本の自国の発展のためには、アジア大陸との結びつきが不可欠であり、朝鮮半島や中国との交易・外交から伝播した金工から建築まで、あらゆる分野で革新がありました。